

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

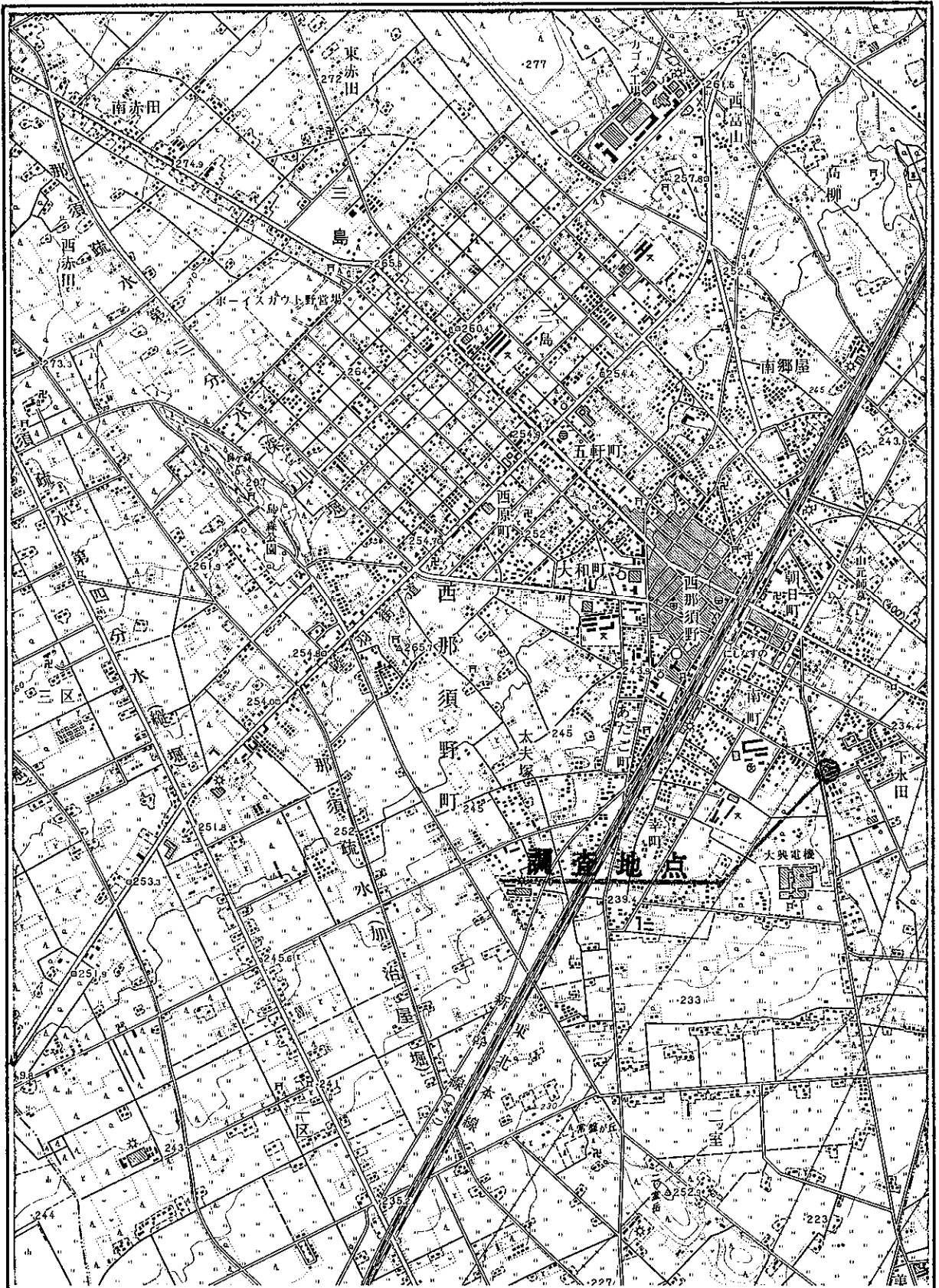
地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご利用ください。

栃木県土木部建築課

調査地案内図

縮尺 1 : 25,000



ボーリング柱状図

調査名 那須拓陽高校農場監理棟新築工事地質調査

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 1	調査位置	西那須野町下永田3丁目4-346			北緯	
発注機関	(株)イケダ建築事務所		調査期間	平成 7年12月 7日~ 7年12月 8日		東経	
調査業者名		主任技師	現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	99.93m	角 度	180° 上 90° 下	方 向	北 270° 西 90° 東 180° 南	地盤公配	水平
総掘進長	6.29m					使用機種	試験機
							KR-100
							エンジン
							NS-8
							ハンマー 落下用具
							ポンプ
							コーンブリー
							V-6A

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状 図	土質 区分	色調	相対 密度	相対 稠度	記 事	孔内水位 (m)	標準貫入試験				原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	採取 深度 (m)	採取 番号	採取 方法	室内試験 ()	掘進 月日
										深 度 (m)	10cm ごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値							
				盛土	暗褐 暗茶褐		軟 らかい	上部全体にシルト・砂利等の混合土 深度1.20m付近よりシルト・ロ ーム等の混合土 所々、礫を混じる 不均質な層相を呈す		1.15	1 15	1 15	2 30		1.15	1	○			
										1.45					1.45					
	96.93	3.00	3.00							2.15	2	1	4 30		2.15	2	○			
										2.45					2.45					
				砂礫	暗灰 暗茶褐		密 な	礫径Max100mm程度の大礫を 介在し、5~30mm程度の亜円礫 を主にマトリックス(基質部)は細 粒分にてうめられる 固結度はやや高くルーズな層相を呈 す 深度3.0~3.8m付近、部分的に 薄く砂分を混じる 深度4.0m付近より礫径100m 程度の大礫を多量に混じる 全体に不均質な層相を呈す		3.15	9	10	18	37 30	3.15	3	○			
										3.45					3.45					
										4.15	15	18	17 3	50 23	4.15	4	○			
										4.38					4.38					
										5.15	24	26 7	50 17		5.15	5	○			
										5.32					5.32					
	93.64	3.29	6.29							6.15	35	15 4	50 14		6.15	6	○			
										6.29					6.29	6	○			

ボーリング柱状図

調査名 那須拓陽高校農場監理棟新築工事地質調査

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 2	調査位置	西那須野町下永田3丁目4-346			北緯	
発注機関	(株)イケダ建築事務所		調査期間	平成7年12月12日~7年12月13日		東経	
調査業者名	主任技師		現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	99.83m	角	180°上	90°	方	北	試錐機
総掘進長	7.32m	度	180°下	90°	向	東	エンジン
						南	KR-100
						西	ハンマー落下用具
						東	コーンブリー
						南	ポンプ
							V-6A

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験	試験採取	室内試験	掘進月日		
									深	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量	N値						
1	99.53	1.30	1.30	盛土	暗黒褐		非常に硬い	シルト・ローム等の混合土 以深、部分的に多く混じる 深度0.4m以深、全体にローム層 が主体 以深、部分的に砂分を多量に混じ る 全体に不均質な層相を呈す	1.15	2	6	18	26	26	1.15	1	○	
2				砂礫	暗灰 ~ 暗茶褐		中位 ~ 密な	礫径Max100~200mm程度 の大礫を介在し、径5~30mm程 度の面円礫を主にマトリックス(基 質部)は細粒分にてうめられる 固結度はやや高く部分的に層 相を呈す 深度3.0m付近より部分的に礫径M ax100~200mmの大礫を多 量に混じる 深度5.0m付近部分的に砂分を混じ る	1.45	5	5	10	20	20	1.45	2	○	
3									2.45	50		50	10	2.45	3	○		
4									3.15			50	10	3.15	4	○		
5									3.25			50	8	3.25	5	○		
6									4.15			50	8	4.15	6	○		
7									4.23			50	18	4.23	7	○		
									5.15	25	25	8	50	5.15				
				5.33				5.33										
				6.15	20	20	10	50	6.15									
				6.39				6.39										
				7.15	23	27	7	50	7.15									
	92.51	6.02	7.32					7.32										

